



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

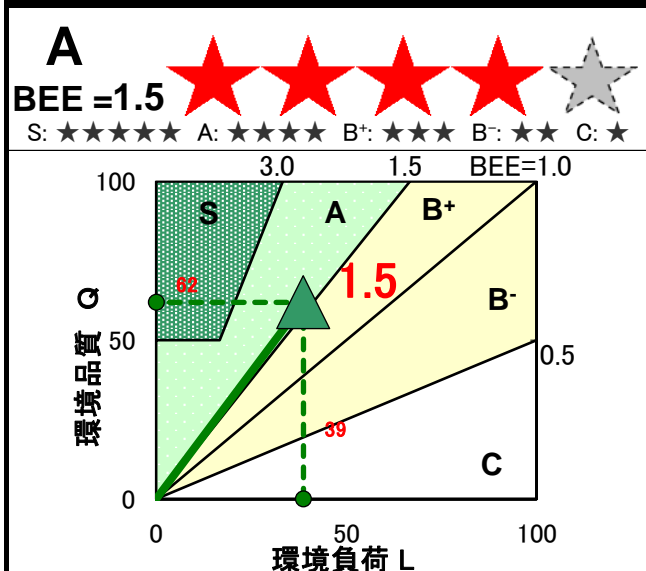
1-1 建物概要

建物名称	PMO EX 新大阪	
建設地	淀川区宮原4丁目	
建築用途	事務所	
建築主	野村不動産(株)	
設計者	(株)竹中工務店	
敷地面積	1,473.80	m ²
建築面積	840.56	m ²
延床面積	9,655.03	m ²
構造/階数	S造	/ 地上12階
完了年(予定)	2021年5月	

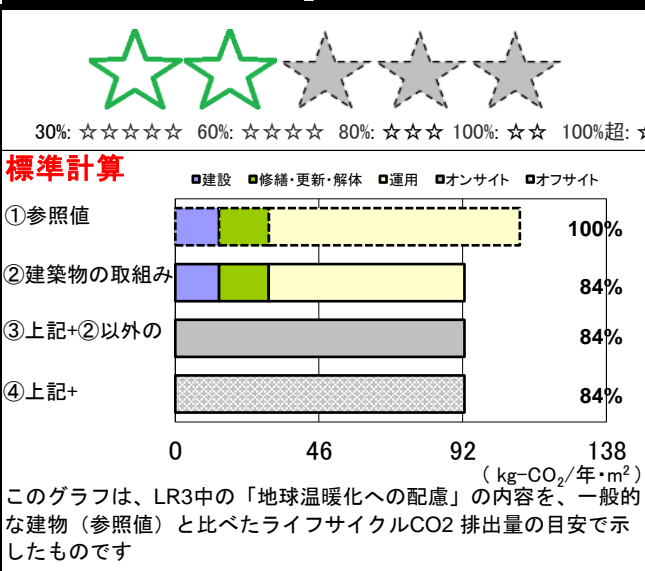
1-2 外観



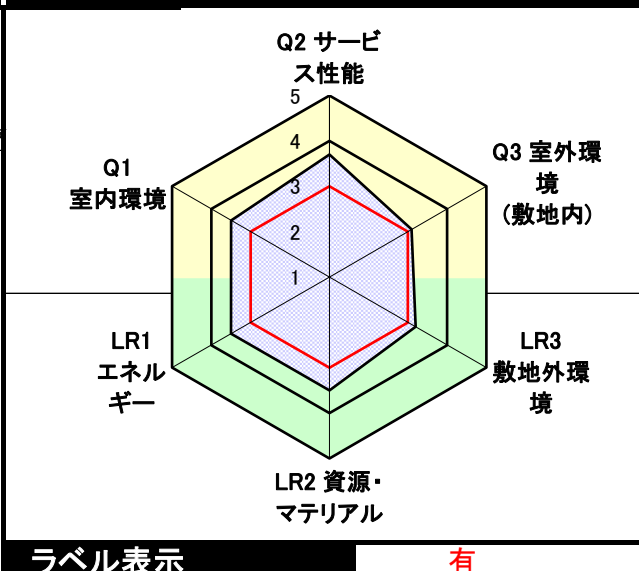
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



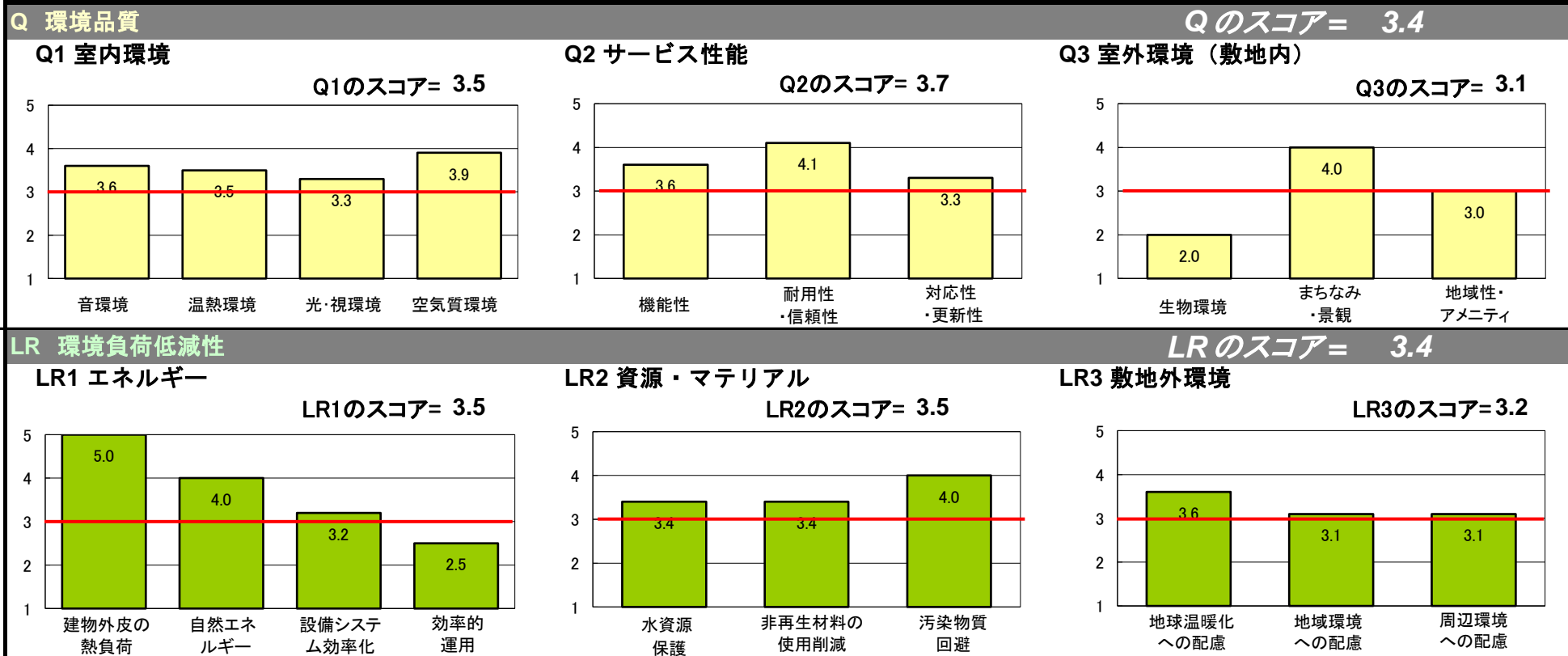
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 新大阪駅にほど近い場所に位置し、近年の働き型の多様性に対応したフレキシビリティの高い小規模オフィスを提供する。道路に面する南面はガラス張りの印象的なデザインとし、従来型のオフィスとの差別化を図る。	その他 特になし。
Q1 室内環境 内装材はF☆☆☆☆建材を使用し、室内の空気質環境向上を促進する。音環境についても建具を遮音性能の高いものを採用する。	Q2 サービス性能 設備配管・ダクトには耐用年数の長いものを採用し、建物機能の耐用性を向上させる。また十分な階高を確保する事で空間のゆとりを生み出し、将来の模様替えや用途変更への対応性を向上させる。
LR1 エネルギー 高効率空調機器の採用、全面的なLED照明の採用を実施する事で一次エネルギー消費量を抑えた省エネルギー設計とする。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用による水資源保護に努める。また再利用可能な建材を採用するなど非再生資源使用量を少なくするよう努める。断熱材の発泡剤にはフロンを含まず地球温暖化に起因するものの使用を避ける。
	LR3 敷地外環境 省エネルギー設計から、運用時の二酸化炭素排出量低減を図り、地球温暖化防止に努める。また周辺での交通渋滞や廃棄物処理へ配慮することで、地域インフラに与える負荷を低減するよう努める。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.6
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.2
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
外皮性能	- (相当)	0.79	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.78	-	0.78

